

○評価内容

【申請団体1】

本指定管理業務を、豊富な経験と実績を有する各事業者が分担することにより、それぞれの得意分野を生かした安定感のある提案内容となっている。

生涯学習活動、文化活動に係る提案事業において、具体的な展開をイメージしづらい部分はあったものの、手厚い人員配置をはじめ、生涯学習市民センター・図書館両施設のコラボレーションによる運営企画、また、充実した研修体制など、全般を通じて堅実な提案がなされるとともに、図書館業務に係るバックヤード業務の重要性についても十分に理解がなされている。

また、整備されている危機管理対応、安全点検に係るマニュアル類や、数多く収集している施設維持管理面でのトラブル事例を本施設においても生かすことにより、未然防止に資するなど、的確な施設管理を期することができる。

これらのことから、他の申請団体よりもすぐれた提案内容であると評価する。

なお、今後においては、地域住民の集い、交流の場としての性格が強い施設の特性を踏まえたきめ細やかな対応を図るとともに、図書館の指定管理に対する不安の声や、枚方市独自の背景を十分に踏まえた運営を行うよう期待する。

【申請団体2】

子育て支援をはじめ、多方面に活動するNPO団体として実績を有しており、生涯学習施設や図書館が、地域でどのような存在であることが望ましいか、今後どう進んでいくべきかという根本的な視点に立ってなされている提案に、熱意が感じられた。

生涯学習市民センターに関しては、今までないサービスの提供として、「行ってみたい」と思わせるような、特に得意とする子どもを対象とした企画が増えることなどへの期待がある一方で、図書館に関しては、人員の確保や配置の面を含め、実務に係る知識、実践経験の不足があることは否めず、これらを補う積極的な提案がなかった。また、施設の管理面についても、適切な業務履行の担保という観点において、事業計画書での説明は、十分に具体性を有するとは言えないものであった。